

広報 = 177号

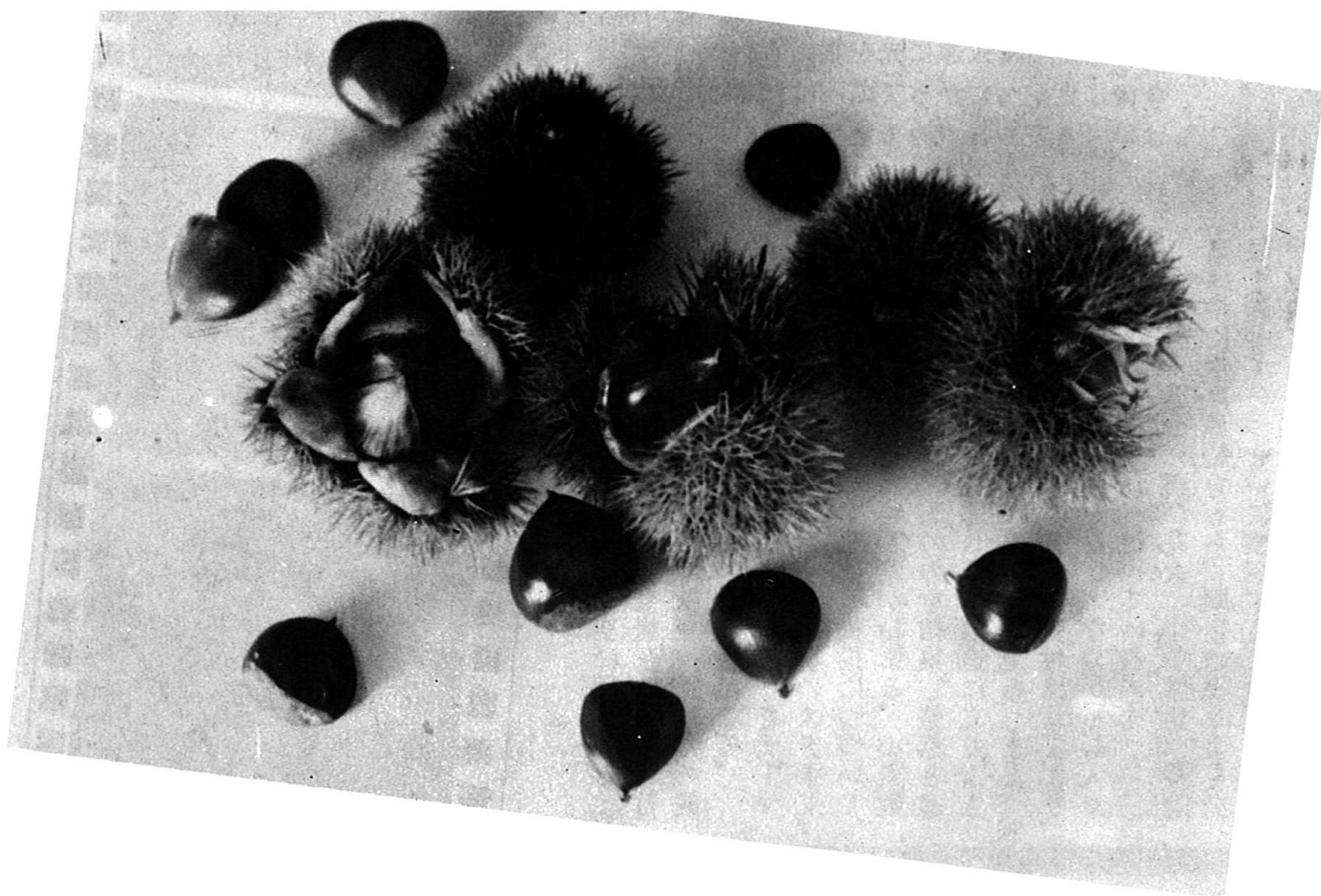
なかつえ

人口と世帯

8月31日現在
 ()内は前月比
 人口 2,189(-1)
 男 1,059(-1)
 女 1,130(0)
 世帯数 586(0)

■ 発行所・編集発行人・中津江村・斉藤隆一

印刷・日田・朝日堂



実りの秋のことば通り、山にはクリ、カキ、ナシ。

歯ざわりの良さは健康であること、秋であることを教えてくれます。

冬眠する前のクマは、クリやカキなどの実を食べて体じゅうに脂肪をつけ、冬の寒さに耐えられるエネルギーを貯わえると聞きます。私たち人間も秋になって食欲を感じるのは、昔々に捨て去った“野性”がよみがえり、クマ同様にエネルギーを貯わえるためでしょうか。

しかし、このエネルギー、いつ、どこで、どんなふうに爆発させるのか、妙に野性ということばが気になるこのごろです。

<9月>

- 21日 秋の全国交通安全運動 (~30日)
- 23日 秋分の日
丸蔵小百年祭
- 24日 結核予防週間 (~30日)

<10月>

- 1日 法の日週間 (~7日)
住宅統計調査
- 10日 体育祭(ソフト・ゲート)
目の愛護デー

行事

1978

9月号

〈鯛生小学校100年祭〉

永遠に光を求めて

古きを温めると共に現状をみつめ、さらに将来にわたって永遠に光を求める。

今後二世紀へむかっての羽ばたきを、私たちはいつまでもみつめていかなければならない。

するどい花火の音が鯛生の空に響き渡る。これを合図に老いも若きも会場へ向けての行進が始まる。全くの快晴、校庭、道ばたの花もこの日を待ったかのように咲きほこる。

「手造りの百年祭で鯛生の味を」をテーマに三年間かけ企画した百年祭行事のスタート。君ヶ代にあわせ厳肅な国旗掲揚につづいて小学生による鼓笛パレードが始まる。小人数ではあるが、一人一人の力を結集し整然と進む姿にたくましさを感じる。沿道に立並ぶ人々から思わず大きな拍手がわき上る。また、校門入口では恩師、卒業生で受付はうずまり控室、会場では再会を喜び、なつかしむ人々のはずむ姿でふくれあがっている。

九時五十五分、再び花火、小中学生、参加者は手に手に風船をもち、鯛生のよりよき発展を願っていっせいに放流する。数百の風船が青空にくっきりと浮び、北東に向かって高



七年ぶりに再開

第二十一回畜産品評会

第二十一回畜産品評会が八月二十二日、役場前の駐車場において七年ぶりに開催されました。

村の畜産農業は、農機具の普及と全面的な畜産経営の不況によって飼育頭数が極度に減少し、最低期には七十頭以下となり、品質も低下し、品評会の開催が不可能となりました。こうした事態を考え、昭和五十二年より肉用牛導入事業を実施し、昭和五十二年度までに三セツト、九十頭の基礎牛を導入し、品質の改良と飼育管理の改善につとめました。この結果、この事業実施を契機に全般的に種質が向上、飼育管理も改善され、頭数も百数十頭に増加し、あわせて生産者の意欲もたかまり、優良肉用牛が生産されるようになったので、これを機会に品評会の再開を決定しました。

今回の品評会、出品頭数も予想を上回る二十頭が出品され、審査の結果、講評では全般的にいちじるしくレベルアップし、品質改良と飼育管理の努力のあとが見られるということでした。

村は、今後とも畜産振興に必要な施策を講ずるとともに、畜産品評会をいっそう充実し、生産者とともに優良肉用牛の生産増強を期待

第5回早朝ソフトボール大会

川辺チームが 初優勝

6月12日からおこなわれていた第5回早朝ソフトボール大会が、8月8日の丸蔵ロック対川辺の試合をもって終了しました。

今回は、過去の大会にくらべ混戦模様。参加チーム9チームのリーグ戦の結果、原部八所、丸蔵ロック、川辺の3チームが6勝2敗と同率となり、この3チームで再びリーグ戦がおこなわれ、川辺が2勝し、初優勝しました。各チームの成績は表のとおりで、1位川辺、2位丸蔵ロック、原部八所、4位丸蔵セブンズ、5位新美津和、89ミックス、7位リトルジャイアンツ、8位野田、9位栃原という結果になりました。

優勝、準優勝した3チームのほか目立ったチームとしては、昨年の大会で1勝もできなかった丸蔵セブンズが、今回は5勝、健闘をみせました。選手のみなさん大変お疲れでした。

なお、表彰は10月10日、体育の日におこないます。

	川 辺	新 美 津 和	丸 蔵 セ ブ ン ズ	丸 蔵 ロ ッ ク	栃 原	原 部 八 所	8 9 ミ ッ ク ス	野 田	リ ト ル ジ ャ イ ア ン ツ
川 辺	○	×	×	×	×	×	×	×	○
新 美 津 和	×	○	○	×	×	×	×	×	×
丸 蔵 セ ブ ン ズ	×	×	○	×	○	○	×	×	×
丸 蔵 ロ ッ ク	○	×	×	○	×	×	×	×	×
栃 原	○	○	○	○	○	○	○	○	○
原 部 八 所	○	○	×	×	×	○	×	×	×
8 9 ミ ッ ク ス	○	×	×	○	×	○	○	×	×
野 田	○	○	○	○	×	○	×	○	○
リ ト ル ジ ャ イ ア ン ツ	×	○	○	○	×	○	○	×	×
勝	6	4	5	6	0	6	4	2	3
敗	2	4	3	2	8	2	4	6	5

く高く舞い上る。十時、記念碑の除幕、くす玉がわれ、紙ふぶきの散る中にくっきりと「永遠に光を」の碑文がうかびでる。斉藤村長から「ゆたかであくまじい伝統をうけつぎ、がんばってほしい。」との碑文の紹介があり、舞台は本会場へうつる。

予想以上の人の波に会場はふくれあがる。感謝状贈呈につづいて委員長、校長の喜びにあふれる式辞、つづいて教育事務所長、教育長の祝辞があり、参加者に感動の深まりが感じられる。つづいてアトラクション。最初はかわいい小学生の発表、ダンス、合奏、研究発表、無心に踊る子どもの姿に、昔を思いおこされた卒業生も多かったことだろう。十二時、いよいよ祝宴である。手造りのおにぎり、とうきび、肴を前にテーブルを囲む。手はとうきび、おにぎりにうつる。思い出の鯛生の味をじつとかみしめている老人もいる。酒を

くみかわし往事をしのんでいる人たちもいる。アトラクション二部は婦人の発表である。夜を徹しての練習の成果はやはり味がある。ユーモアたっぷりの司会に百年祭ムードはいやが上にも盛りあがる。とび入りも始まる。思い出の歌もとび出す。時のたつのも忘れての交流も二時三十分前、伊藤前校長の音頭で万才をあげ解散となる。

人と人との交流、郷愁をとおして未来へ目を向けることができ、それぞれが心の故郷の健在をたしかめ満足して別れることができただろう。それは鯛生地区の人々の連帯の中で生まれた形式にこだわらない あたたかい思いやり。労を苦にせぬ手造りの百年祭であったからではなからうか。すばらしい百年祭だった。この百年祭をとおしての地区民の連帯感、本物であり、村づくりの力強い第一歩をふみだしていることを感じることができた。

するものです。今回の品評会に入賞した方々は次のとおりです。なお、入賞者には村長賞のほか、数々の賞が送られました。(敬称略)

- ◎一等賞 石貫 琢・渡辺重信・長谷部虎雄
- ◎二等賞 長谷部吉武・平東洋和・川良真寿雄・水野吉弘・川良真寿雄
- ◎三等賞 矢野武義・小川勲・武原連・長谷部豪・河津伸吉・武原連・永瀬章・石川幸夫





涼を求めて
八〇〇人

楽しかったネ

8月13日と14日に野田小学校跡で第10回盆踊り大会がおこなわれ、涼を求めて延べ800人の人がくり出しました。

盆踊り

13日の前夜祭では、のど自慢大会と映画が催され、のど自慢大会では、飛び入りを含め40名の方が日頃鍛えたのどを披露し、満場の拍手を浴びていました。

14日の盆踊り大会では、浴衣姿もあでやかに、中津江小唄、中津江音頭等民踊とフォークダンスをおりませで踊り、最後は福引きで2日間を締めくくりました。

今年の大会は、昨年より1日多い2日間としたり、PRを盛んにおこない心配された人出も予想以上でした。それに、のど自慢大会や映画の上映など催しものも多彩で、来場した人は涼を満喫できたことと思います。

今年は、うだるような暑い日ばかりでしたが、この2日間はとても涼しく、楽しい日でした……。



道路は
みんなのもの

暑い中

9月3日から5日までの3日間道路愛護作業がおこなわれました。伸び放題で道をせまくしていた雑草やうずもってしまった側溝など交通の支障になるものばかりでした。しかし、皆さん方のご協力により、雑草はきれいに切り取られ、道路は平坦になり、側溝もその役目をはたすことができるようになり、気持ちのよいすきっとした道路となりました。

おつかれでした

道路愛護作業につきましては、今後も皆さん方のご協力をいただきたいと思います。

道路愛護作業につきましては、今後も皆さん方のご協力をいただきたいと思います。

すぎなみバイパスを通過して、宮園部落を過ぎた峠より左手に行くと巢山弘法大師があります。その弘法大師の堂宇が浄財をもって完成しました。代表の長谷部豪さんは「中津江をはじめ、上津江、前津江、矢部・黒木町・福岡・東京・大阪など、およそ千名の方々のご支援にてできあがりしました。本当にありがとうございます。巢山弘法大師様も、このたびいよいよ千人力をもって人助け、社会の為に公益をあたえて下さることを信じています。」

ご利益を

巢山弘法大師

8月24日、その新霊場の中でお祭りがおこなわれ、およそ500人の方々が参拝しました。お祭りは旧暦の3・7月の21日に行なわれています。



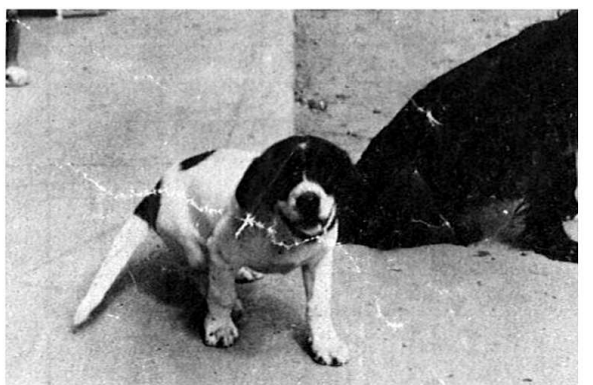
新しくなった
巢山の堂宇

9月20日から26日までは「動物愛護週間」です。私たちにあって、動物を飼うのは大きな楽しみのひとつですが、その飼ひ方、管理のし方が十分でないことが多く見受けられます。

動物を

正しく飼って

たとえば——これは前から言われていることですが、生まれた子犬や子猫を捨てる人が後をたたく、これらが野犬や野猫になって人に咬みつくようになり、あげくの果てに野犬に幼児が咬み殺されるという痛ましい事故が時々おこっています。犬に咬まれる事故は、昨年度でなんと1万5千件も起きているのです。これを機会に、動物の「正しい飼ひ方」をもう一度考えてみたいものです。



ボクたちを
可愛いがつてネ



ホープ！ 期待されると
いう願いの言葉。躍動する
若いエネルギー、ここに…

高 迫 高 野 誠 司 くん

「やつとボクの出番ですか」と自信たっぷり？…なホープさん。今月は高迫部落の高野誠司くん。昭和二十八年生まれの二十五才、日田林工卒業後、山口県へ就職、昨年中津江村に帰ってきました。現在、日田市の会社へ通勤。

「やつとボクの出番ですか」と自信たっぷり？…なホープさん。今月は高迫部落の高野誠司くん。昭和二十八年生まれの二十五才、日田林工卒業後、山口県へ就職、昨年中津江村に帰ってきました。現在、日田市の会社へ通勤。

年金メモ

保険料の追納制度を

ご存知ですか？

保険料の免除をうけた期間は、老令年金・通算老令年金を計算する場合、年金額が普通に保険料を納めた人の $\frac{1}{3}$ に減額されます。

過去の免除をうけた期間は、10年前の分までなら、さかのぼってその当時の保険料で納めることができます。将来のことを考えて、生活に余裕ができたときは保険料の追納をおすすめします。

当時の保険料額（月額）	
昭和43年9月～昭和45年6月	250円(300円)
昭和45年7月～昭和47年6月	450円
昭和47年7月～昭和48年12月	550円
昭和49年1月～昭和49年12月	900円
昭和50年1月～昭和51年3月	1,100円
昭和51年4月～昭和52年3月	1,400円
昭和52年4月～昭和53年3月	2,200円

() 内は35歳以上のばあい。



目はからだのなかでも、いちばん神経の過敏なところ。ごく小さなゴミが目に入っても、思わずこすりがちで、そのため粘膜に傷をつけたり、炎症を起こしたりすることがあります。十月十日は「目の愛護デー」です。目にゴミがはいったときの応急処置は次のようにしてください。

家庭の医療

10月10日は目の愛護デー
ゴミが入ったときの
応急処置

「目を突いたとき」 草木の先や紙の端で目をついたときは、すぐに眼科医の診察を受けて、炎症が起きるのを防いでください。

10月1日に 住宅統計調査

10月1日、全国いっせいに住宅統計調査がおこなわれます。

この調査は、住宅や世帯のことについての最も基本的な調査で「住宅の国勢調査」といわれていて、昭和23年以来5年ごとにおこなわれています。今回の調査は7回目にあたります。

調査は全国五百万の住宅、世帯を対象としており、今回は鯛生7班・発電所と田ノ口・中村部落が調査区に国から指定されましたので、調査区のみなさんには、たいへんごめんどうと思いますが、9月24日から30日までの間に調査員が調査票の記入をお願いにあがりますので、ご協力をお願いいたします。

調査した事柄は統計をつくるためだけに利用され、他にももらしたりすることは法律で禁じられていますので、安心して正しく申告くださるようお願いいたします。

警察官募集

受験資格は、昭和26年4月2日から昭和36年4月1日までに生まれた男子で、高等学校卒業程度の学力を有するもの。受付期間は9月30日から10月20日まで。くわしくは県下各警察署または派出所(駐在所)へお問い合わせください。

9月21日～30日 秋の交通安全運動

楽しかった夏休みも終わって子どもたちは新学期。これまでの開放的な毎日から生活のリズムがかわり、注意力が散漫になって、交通事故に結びつきやすくなります。また、お年寄りも外出の機会がふえ、交通事故にあいやすい時期です。

そこで、今年も9月21日から10日間、全国いっせいに「秋の交通安全運動」が展開されます。今年のテーマは「歩行者及び自転車利用者、特に子どもと老人の交通事故防止」「安全運転管理の充実と、安全運転の促進」の2点です。

29名の選手が県体に出場

9月16日から18日までの3日間、大分・別府地区で第31回大分県民体育大会がおこなわれます。中津江村からも各種目に31名の選手が出場、各選手の健闘を期待したいと思います。選手は次の方々です。

- ※陸上～児塔民和、岩下和生、吉野隆璽、永瀬康敏、鷹野潤、高木望、遠坂洋行、高野新一、清水亀男
- ※剣道～斉藤隆一、江田正義、小宇佐尚志
- ※バドミントン～森本久宣、合谷信義、矢野しのぶ、井上文子、江田智子
- ※卓球～河村又一郎、鷹野未典、遠藤千恵美
- ※射撃～高木喬敏、長谷部戦助、猪野仙治
- ※野球～合谷恵二
- ※柔道～長谷部建美
- ※庭球～猪俣昭彦
- ※山岳～岩釣賢三、杉野喜一郎、佐藤喜代子

体育祭参加募集

教育委員会では、10月10日体育祭(ゲートボール大会・一般男女ソフトボール大会)の参加募集をしています。一般男女ソフトボール大会については例年どおりのチーム編成ですが、ゲートボール大会について…男50才以上、女40才以上の方で、1チーム5人、男女混成チームでもよいとなっています。

なお、大会にはスティックなど教育委員会で用意をしますので、用具をもたない方でも参加できます。また、練習をするときなどやルールのわからない点がありましたら教育委員会まで連絡ください。

しめ切りは、ソフト、ゲートともに9月28日です。申込用紙は教育委員会にあります。多数のご参加をお願いします。

広報なかつえ 残りがあります

昭和49年4月号から現在までの「広報なかつえ」に多少の残りがあります。毎月とじている方でなくしたという方、自分の記念になるような記事が掲載されてなくした方など、欲しいという方がいましたら、教育委員会まで、おいでください。なお、とじてみ紙も多少あります。

雑記

九月の公的行事をみると健康に関係の深いものが少なくありません。ガン制圧月間、結核予防週間、このほか精神衛生や労働安全といった健康関連行事が目白押しといった状態です。でもいろいろな呼びかけがあってもやはり病気になるのは本人の心がけの問題なのです。

昨年の秋ごろから爆発的な流行をみせているトレーニングウェア、これは利用度が運動だけに限らず、作業着、パジャマ代わりまでするといふ、多様化したためだといわれます。しかしわずかながら健康管理に對する意識が向上していることもいえます。これも流行しています。ランニング、でもランニングとマラソンとは違います。昔から完走は美德とされているマラソン。ランニングに無理は禁物。自分の体の調子にあわせて、一步一步健康づくりを。